

ブラジル岐阜県人会長が中津川市を訪問

2009年12月4日（金）、ブラジル岐阜県人会の山田彦次会長が中津川市長を表敬訪問しました。

山田会長は、「1970年代に移民が途絶え、世代交代も進んだことから、急速に日系人コミュニティの存在感が弱くなっている。日本語を理解できる人がわずかとなり、同時に文化も消えていく。ブラジル化していくのもひとつの流れではあるが、ちゃんとバックグラウンドを持つことが重要だと考えている」「日本から多くの方にブラジルを訪問していただければこうした現状に歯止めをかけられるのではないかなと思う」とブラジル日系人コミュニティの現状について話しました。

また、「2013年に岐阜県人ブラジル移住100周年を迎える。これを記念して、これまでなかった岐阜県民の移住史をまとめたいと思っている。県人会館の建設も進めたいが、資金協力をお願いすることは県も市町村も財政的に厳しいことは承知しており、経済界などに協力を呼び掛けてほしい。100周年の記念式典にはぜひ出席してほしい」と要請しました。

